風紋

2015 No.509（3月号）

浜岡砂丘

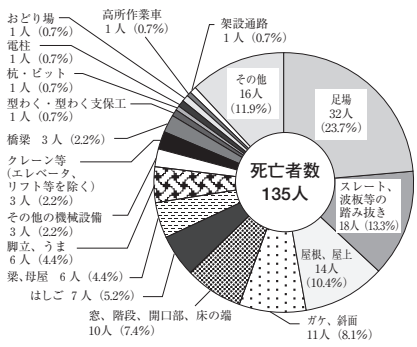
平成26年度

建設業年度末労働災害防止強調月間 3/1～3/31

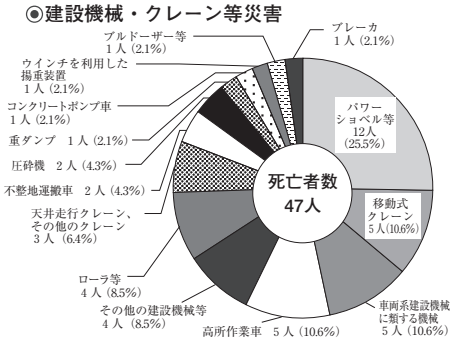
本年度も三月一日～三十一日まで建設業年度末労働災害防止強調月間が展開されます。平成二十六年度も残すところあと一ヶ月です。多くの工事が、工期末を迎え現場は最後の追い込み時期です。現場は、繁忙期を迎える中、心身の疲労と焦り等で注意力が散漫になることもあります。些細なミスが重大災害に繋がる恐れがありますので、全員で無事故無災害で工事を完成させ新年度を迎えましょう。また、静岡県内では、平成二十六年の休業四日以上の死傷災害の内、死亡災害が前年同比四十％増加しており、そのうち七割が車両系建設機械等に起因する災害となっています。社内でも十分な対策を講じていきましょう。

平成26年　建設業における死亡災害の三大発生状況（1～11月）

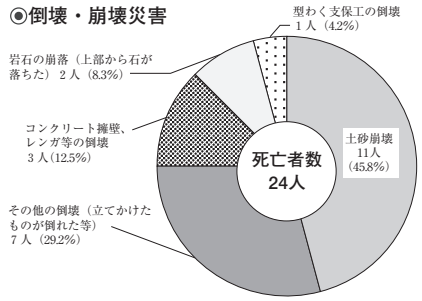
◉墜落・転落災害



◉建設機械・クレーン等災害



◉倒壊・崩壊災害



平成26年12月7日現在速報値

ホームページアドレス

http://www.masudagumi1912.co.jp

カタログパーク http://www.hamaoka.or.jp/masuda.html

研修生を迎えて

二月四日から六日までの三日間静岡県立掛川工業高等学校設備システム科二年生の長谷川拓実君が当社でインターンシップを行うこととなり、実際の現場に出て建設現場の仕事を体験してもらいました。

今回の研修では、実際の現場を「見て」「聞いて」「体験して」もらい、建設業とはどのような仕事をしているのかを体感してもらえればと思い内容を計画しました。

主な実習内容は、測量を主体とし、写真管理、出来形管理、品質管理等の現場管理全般を体験してもらえるよう、市道二三九号線歩道設置工事にて研修を行いました。

新野川（三線川樋門工）見学

初日の午前中に、会社の業務内容の説明及び実際稼動している現場の視察及び説明を行いました。午後から実際に現場へ行きました。現場では、主に、測量や丁張掛け方、現場作業を体験し、構造物や盛土の出来上がっている部分を、巻尺やレベルを使っての出来形管理や現場密度試験による品質管理も体験することが出来ました。

三日間と短い期間でしたが、厳しい寒さの中での研修で、且つ普段の学校での授業とは違い、現場での研修だったため大変だったと思いますが、大変がんばっていただいたと思います。この経験が、今後の進路の役に立てば良いと思います。

技術者や技能者の入職が減少している建設業は、若年者から魅力を感じない産業となってしまっています。建設業は決して魅力のない仕事ではないと思います。少しでも建設業の魅力を発信できるよう、これからもインターンシップ等を受け入れていきたいと思います。

研修お疲れ様でした。

研修生の感想

インターンシップで大変お世話になりました。今回の体験で、多くのことを学び、働くことの大変さ、社会へ貢献することの重要さを知ることができました。

まず、今回の体験で土木に対するイメージが、かなり変わりました。自分が考える土木に対するイメージは、力仕事が大半でした。しかし、当然のことのようにパソコンも使われていたし、数多くのデータが飛び交う中での作業でした。力仕事もありましたが、とても緻密で繊細な仕事であるという印象を強く受けました。わずかなズレが許されない世界であることがすごいと思いました。

今回は、測量の体験をさせて頂きました。初めての作業で、最初は大変でしたが、だんだんと作業することが楽しいと思えるようになりました。

その他で、自分が受けた印象としては、楽しんで仕事をしていると思いました。やはり、楽しんでやることは、とても大切だと思いました。今回、いろいろな現場を見学させて戴いた中で、改めて思いました。自分も将来は、そのような仕事に就きたいと思いました。　また、普段見られない現場を見ることができたり、入れない所に入れたりと、とても楽しかったです。かけがえのない体験となりました。

今回の体験は、三日間という短い間でした。ですが、得たものは計り知れない程多く、人生の中でも、かなり貴重で刺激的な体験でした。何も知らない自分を温かく受け入れ、多くの事を教えてくれた皆様へは、感謝しきれない気持ちで一杯です。学んだことをこれからの人生で活かせるよう精一杯努力します。本当にありがとうございました。

御前崎市 消防庁舎免震見学 2/9

現在工事中の御前崎市消防庁舎にて免震装置の設置が行われるということで現場見学に行ってきました。

免震装置は、ゴムと鋼板を交互に積み重ねて加硫接着したもので、地盤と建物の基礎の間の免震層に設置され、建物を支えつつ地震の揺れを建物に伝えない役割を担うとのことでした。

現場には、すでに装置取付用プレートが設置されていました。このプレートの下には、気泡が無いようにコンクリートを打たなければいけなく細心の管理のもと施工したとのことでした。

免震装置の設置

いよいよ装置の取り付けになります。

ここでは百トンのクレーンにより設置作業が行われており前出のプレートにボルト固定されます。

たかがイモ　されどイモ

最終回

沖　寿弘

サツマイモの育種（品種改良）

日本に伝来したサツマイモの品種は数品種であったのが、明治末期には全国でおよそ三〇〇品種になり、その半数以上が沖縄県で作られたものだといわれています。

なぜこんなに増えたのでしょうか。その理由として、

①サツマイモは遺伝的に突然変異（ツルが短くなったり、イモの色が変わるなど）しやすい作物であること。

②サツマイモを栽培していた農家が突然変異を見逃さず、農家の手によって育種（新品種を育てること）されたこと。

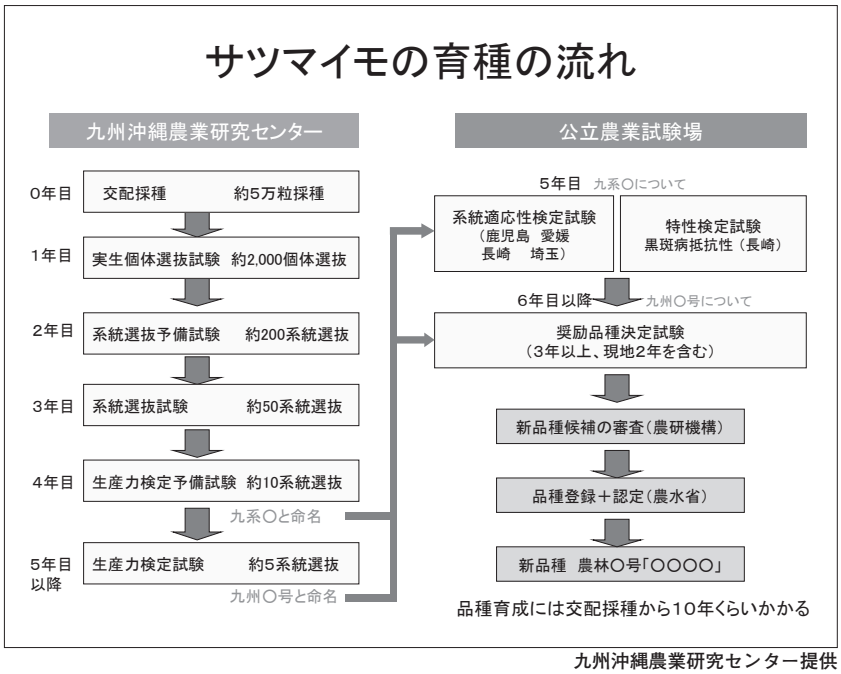
③特に熱帯生まれのサツマイモは、沖縄の気候の中で自然の状態で新しい品種が生まれたこと（花が咲いて種ができ、種から芽が出て生長できた）。

これらのサツマイモは在来種と呼ばれ、地方によっては「源氏」「紅赤」などの名前が付けられました。あの有名な「安納芋」も種子島の在来種で、皆さんが食べている安納芋は、鹿児島県で系統選抜され、「安納紅」や「安納こがね」と名付けられ、品種改良されたものです。

一九一四年（大正三）に沖縄県立糖業試験場国頭（くにがみ）苗圃で、初めて人工交配（人間の手によって受粉、種をとる）によるサツマイモの品種改良が行われ、次々と新しい品種が生まれました。その後、サツマイモの品種改良は国策事業となり、戦時中には味より多収穫のサツマイモの品種が作られました。

現在、独立行政法人農研機構の九州沖縄農業研究センター（宮崎県都城市・熊本県合志市）と作物研究所（茨城県つくば市）を拠点として、サツマイモ育種研究チームがサツマイモの生産振興や加工産業の活性化に貢献するため、個性的な新品種の育種に取り組んでいます。

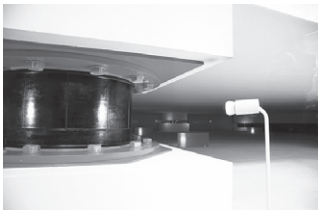
投稿「たかがイモ　されどイモ」は、今月号で最終回となりました。沖さんには、ご多忙の中、一年間にわたりご投稿いただき大変感謝しております。誠に有難うございました。



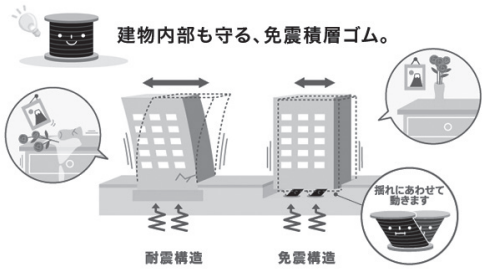
九州沖縄農業研究センター提供

しっかり固定されたかは、トルクレンチにて全箇所確認されておりボルトの緩みが判断できるようマーキングをして完了ということでした。庁舎ではこの装置が十八セット設置されその上に建物が建つということです。

消防庁舎は災害時の拠点となることが想定されます。このような建物であるということが地域の人々にとって安心材料になるのではないでしょうか。



イメージ



職員会ボウリング大会 2/18

職員会主催ボーリング大会が二月十八日（水）に行われました。

参加者二十三名が上位入賞目指しスタート。今回始めての方が四名、その中には今春入社される萩原丈太郎君も加わり豪華メンバーでの戦いとなりました。工事も繁忙期を迎え、心身の疲労もピークだと思いますが一投一投と投げていくうち力も入ります。

最後に表彰式で順位が発表され全員に賞品がわたされました。

お疲れ様でした。

上位三名（二ゲーム合計）

一位　山﨑真弘さん（三二九点）

二位　石澤浩之さん（三一六点）

三位　山下茂俊さん（二九五点）

安全パトロール・現場督励

二月三日に掛川浜岡線にて現場督励、二月七日に安全パトロールを実施しました。工事の完成に向けて現場内が慌ただしくなってきますが安全第一で工事が終われるようにしましょう。

♪♪ 春が来た　春が来た　どこに来た ♪♪♪

昨年の秋に掛川浜岡線（アダプトロード区域内）沿いに蒔いた菜の花が満開になりました。立春は過ぎたとは言えまだまだ寒い日が続いているのに、春は着実に近づいて来ています。

また、花壇に植えたチューリップの球根も可愛い芽が出始めました。どんな色が咲くか楽しみです。

合格

一級建築施工管理技士

建築課　落合　智

今年度の試験で落合智さんが一級建築施工管理技士試験に合格しました。今回の実地試験も過去問題からの出題があり本人の試験勉強が功を奏し、努力の結果だと思います。おめでとうございます。

卒業

小学校卒業

浅川真悠さん（工事部浅川さん次女）

小学校よりも勉強がむずかしくなり、部活も始まるので、勉強と部活をがんばりたいです。

3月安全努力目標

年度安全標語《事故ゼロへ　ヒューマンエラーを取り除き　今日も明日も安全第一》

建設業年度末労働災害防止強調月間《3/1～3/31》

作業安全

- 足場上での安全作業の徹底
- オペレーターとの合図確認の徹底

交通安全

- 法定速度の厳守

環境目標

- 終業後の機器の電源ＯＦＦを実施しよう

行事記録（1/27～2/26）

1/27 御前崎市商工会　組織マネジメント研修

1/29 御前崎市建設業組合全体会

2/3 昭和会新春合同講演会・静岡

省エネ住宅講習会・静岡

2/4 監理技術者講習・袋井

2/5 御前崎市建設業組合全体会

2/4～2/6 インターンシップ受入

2/9 免震装置見学会

2/10 品確法運用指針に係る説明会・静岡

2/13 建設業職長等指導力向上教育研修・静岡

2/15 二十一世紀浜松の会新春大会・浜松

2/17 内外情勢調査会中東遠支部懇談会・掛川

第十一回袋井建協広報委員会・袋井

2/18 職員会ボウリング大会

2/21 シーテック浜岡協力会新年会・静岡

2/22 小さな親切運動第四回クリーン作戦

2/25 県内大学・企業就職情報交換会・静岡

2/26 ＰＦＩ研修会・静岡

掛川法人会御前崎支部税務研修会

シーテック安全衛生協議会

行事予定（2/27～3/26）

2/27 経営研修会・静岡

3/1 学校法人南陵学園　菊川南陵高等学校卒業式

経営事項審査説明会・袋井

静岡県建設学院修了式・藤枝

3/6

すべての人がよくなる　誠熱創決　意

発行　増田組

TEL ○五三七ー八六ー三二四五

FAX ○五三七ー八六ー六六七五

Email masudagumi1@mail.wbs.ne.jp

URL http://www.masudagumi1912.co.jp